

## 第6回諮問検討小委員会

平成28年3月18日  
13:00～14:00

### ○出席者

#### 公運審委員

青木 健（岩根）、古藤田 憲之（鎌足）、山田 治子（清見台）  
澤邊 賢司（岩根西）、松尾 玲子（富来田）、本多 二三代（文化協会）

#### 事務局

原（清見台）、渡邊・星野・栗本（中央）、稲木（岩根）、松本（八幡台）

### ○記 録 栗本（中央）

#### 答申案の作成について ～最終確認～

青木 それでは、答申について最終確認をいたします。

星野 「於いて」を「おいて」に統一。「街づくり」と「まちづくり」について、市街地整備など意味で用いる場合は「街づくり」とし、地域づくりの意味で用いる「まちづくり」はひらがなとする。「うかがう」はひらがなに統一。「等」と「など」については、「とう」と読む場合は「等」と表記し、「など」と読む場合はひらがなとする。かかわりは「関わり」に統一し、「係わり」は用いない。取り組みは動詞で用いるときは「取り組み」、名詞で用いるときは「取組」となる。「繋ぐ」は「つなぐ」とひらがなに。いっそうは漢字で「一層」。

古藤田 4ページの「地域づくりの拠点として」、5ページの「地域づくりの視点に立って」、8ページの「地域づくりを担う拠点として」と同じような表現になっている。3ページにある「地域の生涯学習や交流の拠点」という表現を受けて、4ページの「今日の本更津市の公民館においては、」のあとに、「これからの地域の学習活動や交流をとおして、地域づくりにつなげていくために」という言葉を追加するのはどうか。

星野 それでは「これからの本更津市の公民館においては、地域づくりにつなげていくために、以下の五つの・・・」ではどうか。

稲木 検討の視点として「教育機関としての公民館の今日的役割」とあることから、「これからの本更津市の公民館においては」ではなく、「今日の本更津市の公民館においては・・・」とする方が適切である。

古藤田 8ページの(5)上から5行目「生活課題や地域課題に根差した事業や」と「や」が多い。「生活課題・地域課題」と列挙させる。

青木 全体的に何かお気づきの点はございますか。

星野 「コミュニティー」を「コミュニティ」に統一。6ページ(1)の「コミュニティスペースとなることを望んでいることが」と「こと」が続いてしまっている。

松尾 「世代を超えたコミュニティスペース・・・となるように望んでいることがうかがえます」

青木 それでは小委員会を終わりにいたします。